

# 大野城市 議会 **だより**

2024 令和6年  
No.164

発行 大野城市議会  
編集 広報委員会  
令和6年2月15日

12

12月定例会



大野城市議会  
ホームページ



## 主な記事

- 12月定例会 ..... P2～3
- 委員会レポート ..... P4～5
- 一般質問 ..... P6～13
- 研修報告 ..... P14
- 議会について知ろう ..... P15

〈表紙写真：大野北保育所〉

市民とともに歩む議会だより

次号165号  
令和6年  
5月15日発行

あなたの写真で  
議会だよりの紙面を  
飾ってみませんか？  
(締切り 3月15日)

# 12月定例会

令和5年12月定例会を12月1日(金)から12月18日(月)まで開催  
25の案件を審議し、可決・承認が24件、不採択が1件。

## 審議結果一覧

令和5年12月定例会

議案番号	件名	議決結果	付託委員会
第81号議案	大野城市印鑑の登録及び証明に関する条例及び大野城市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決	総務政策委員会
第82号議案	大野城市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数可決 (賛成15・反対4)	〃
第83号議案	大野城市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数可決 (賛成15・反対4)	〃
第84号議案	大野城市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決	〃
第85号議案	大野城市人権を尊ぶまちづくり条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
第86号議案	大野城市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	〃	福祉教育委員会
第87号議案	大野城市老人憩の家の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
第88号議案	指定管理者の指定について(公民館施設)	〃	総務政策委員会
第89号議案	指定管理者の指定について(老人憩の家)	〃	福祉教育委員会
第90号議案	指定管理者の指定について(大野城市いこいの里)	〃	〃
第91号議案	財産の取得について	〃	都市経済委員会
第92号議案	令和5年度大野城市一般会計補正予算(第8号)について	〃	予算委員会
第93号議案	令和5年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	〃	〃
第94号議案	令和5年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	〃	〃
第95号議案	令和5年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	〃	〃
第96号議案	令和5年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計補正予算(第1号)について	〃	〃
第97号議案	令和5年度大野城市水道事業会計補正予算(第2号)について	〃	〃
第98号議案	令和5年度大野城市下水道事業会計補正予算(第3号)について	〃	〃
第99号議案	大野城市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	〃	総務政策委員会
第100号議案	大野城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
第101号議案	令和5年度大野城市一般会計補正予算(第9号)について	〃	予算委員会
請願第3号	現在の健康保険証の存続を求める請願書	賛成少数不採択 (賛成6・反対13)	総務政策委員会
意見書案第2号	教員不足解消のため定数増など抜本的な改善を求める意見書の提出について	全会一致可決	—
意見書案第3号	災害等を考慮した選挙制度の見直しに関する意見書の提出について	賛成多数可決 (賛成14・反対5)	—
—	議員の派遣について	承認	—



## 賛否の分かれた議案

(○：賛成、●：反対、－：議長は表決に加わらないため)

会派名	自民大野城					公明党				未来フォーラム			市民クラブ		自民格闘の会		自民まどか			
議員氏名	山上 高昭	関井 利夫	森 和也	井福 大昌	中村 真一	神田 徳良	井上 正則	大塚 みどり	河村 康之	松崎 百合子	永利 恭子	河野 敏生	松崎 正和	福澤 信光	平田 不二香	岡部 かおり	平井 信太郎	原田 真光	中村 慎一朗	松田 美由紀
第82号議案	○	－	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	●	○
第83号議案	○	－	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	●	○
請願第3号	●	－	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	●
意見書案第3号	○	－	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○

## — 陳情関係 — (全議員に写しを配布)

陳情第13号	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める陳情
陳情第14号	多子世帯の保育料無償化に関する陳情書
陳情第15号	令和6年度 理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い
陳情第16号	紙オムツ持ち込みによる負担軽減に関する陳情書
陳情第17号	シルバー人材センター事業の推進について(お願い)



## 次回開催予定

	2月26日(月)	10:00～	本会議	提案理由説明
	3月5日(火)	9:30～	本会議	代表質問・質疑・付託
		13:30～	各常任委員会	13日迄
令和6年 3月定例会 (予定)	11日(月)～13日(水)	9:00～	予算委員会	
			※令和6年度当初予算審査	
	18日(月)	9:30～	本会議	一般質問
	19日(火)	9:30～	本会議	一般質問
	22日(金)	10:00～	本会議	報告・討論・採決



## 第81、82、83、84号議案について

総務政策委員会

### 第81号議案

大野城市印鑑の登録及び証明に関する条例及び大野城市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

問 コンビニ交付サービスの提供範囲は

答 全国のコンビニが対象である。

問 コンビニ交付サービスの提供時間は

答 6時30分から23時までとなっている。

### 第82号議案

大野城市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

### 第83号議案

大野城市特別職の職員の給与等に関する

条例の一部を改正する条例の制定について

### 第84号議案

大野城市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

問 近隣市含め、全国的に同じような形で条例を上程されているのか

答 国に準じて全国の自治体が基本的には同じ取扱いとなっている。

問 議員及び特別職の予算はどこに計上されているのか

答 議員の期末勤勉手当については、一般会計の1款議会費で計上し、特別職、市長、副市長については、2款の総務費、教育長については、10款の教育費で計上している。

## 老人憩の家、大野城市いこいの里

福祉教育委員会

### 第89号議案

指定管理者の指定について(老人憩の家)

問 老人憩の家の公の施設としての規定はどのようなものか

答 大野城市老人憩の家の設置及び管理に関する条例第1条に「大野城市内に居住する老人の教養の向上、レクリエーション及び相互親睦等を図り、もって老人の心身の健康の増進に寄与するため、老人憩の家を設置する。」と規定されている。

問 28か所の老人憩の家について、専用の建物または公民館・集会所に併設の建物となっている状況は

答 28か所の老人憩の家のうち専用の建物が12か所、残りは併設となっている。

問 老人憩の家のうち12か所の専用の建物の耐震化は進んでいるか

答 必要なところは全て完了している。

### 第90号議案

指定管理者の指定について(大野城市いこいの里)

問 大野城市にはスポーツができる施設やレジャー施設があるが、そのような施設との連携を検討したことはないか

答 新規利用者を取り込み、リピーターになってもらうため、特典等を導入するなど、関係団体・機関との連携の実施に向け、早急かつ前向きに検討を進めていきたい。

## 第1種自然環境保護区域の取得

都市経済委員会

### 第91号議案 財産の取得について

**問** 今回取得する土地は、どのような場所か

**答** 今回取得する土地は全て森林の中である。

**問** 市内の第1種自然環境保護区域で、まだ取得していない土地はあるのか

**答** 私有地として約35%が残っている。

**問** 今後の取得の方向性は

**答** 本事業は、森林等の自然保護が目的であるため、適切に管理されていれば、積極的な取得はせず、所有者から維持することが困難であるとの申出があった場合には取得の検討を進めていく。

**問** 取得後、土地にある樹木は、市で売却するのか

**答** 利用価値のあるものについては、今後、売却も検討していく。

**問** 土地価格の算定根拠は

**答** 不動産鑑定士による鑑定結果を基に決定している。



ダムから見える牛頸山

## 生活に密着した事業補正の追加

予算委員会

### 第92号議案 令和5年度大野城市一般会計補正予算(第8号)について 歳入歳出予算の総額にそれぞれ3億2056万円を追加し、補正後の歳出歳入予算総額を447億6404万8000円とするもの

**問** 子育て世帯ホームヘルプサービス業務の利用状況や利用の対象は

**答** 今年度9月までの延べ利用者数は60名。令和4年度までは産後12週までの子を持つ世帯が対象だったが、令和5年度からは妊婦及び18歳未満の子どもがいる世帯に拡充している。実際の利用は未就学児の子を持つ世帯が大部分を占めている。

**問** いこいの里指定管理者交付金の増額の内訳と今後の取組は

**答** 人件費のベースアップ、施設管理費用、PR事業などの経費。地域団体と連携しながら、

利用していない方のニーズ調査を行い新規利用者の獲得を図る。

**問** 運転免許証自主返納等支援事業の免許返納件数や地域の偏りの有無、事業効果は

**答** 本年度末までに390件ほど支援の申請が出る見込み。支援者数に地域ごとの特徴は特にはない。事業開始前と返納者数は大きな違いはないと考えるが、今後申請者が増えてくると考える。

**問** 子どもの見守りシステムの利用希望者の割合と申し込み状況、開始時期などは

**答** 利用希望者見込みを当初全児童生徒の4割と想定していたが、保護者向けに意向調査を行った結果、小学校が75%、中学校は55%とした。12月5日時点で約1000件の申し込みがまっている。早いところで1月末開始を予定している。

## 議会の動き

11月24日(金) 議会運営委員会  
会派代表者会議  
12月 1日(金) 本会議(1日目)  
全員協議会  
広報委員会  
6日(水) 本会議(2日目)  
会派代表者会議  
7日(木) 総務政策委員会  
福祉教育委員会  
8日(金) 都市経済委員会

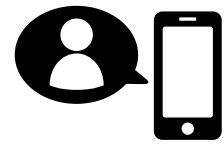
11日(月) 予算委員会  
13日(水) 議会運営委員会  
本会議(3日目)  
総務政策委員会  
14日(木) 本会議(4日目)  
18日(月) 議会運営委員会  
本会議(最終日)  
予算委員会  
全員協議会  
1月 12日(金) 広報委員会  
1月 23日(火) 広報委員会  
1月 24日(水) 中部十一市議会議長会議員研修会



## ～これからの大野城を問う～ 一般質問

注：★がついている内容を掲載しています。

各議員の  
タイトルにある  
二次元コードから  
映像を見ることが  
できます。



議員氏名	件名
平田 不二香	★循環型社会の推進を目指して
福澤 信光	★教育現場におけるセクハラ等のハラスメントに対する未然予防の徹底を
岡部 かおり	★公園の整備と維持管理について ・市内小中学校の水道蛇口ハンドルについて
森 和也	★災害に強いまちづくり
河村 康之	★お互いの違いを認め合い、共生していくインクルーシブな社会を目指して ・学校での福祉教育の実態とその考え方、推進について
中村 真一	★大野城市の人口動態について
永利 恭子	・ジェンダーギャップについて ★本市の「職員の給与の男女の差異の情報」公表について ・若い世代が置かれている現実の把握について ・職員の育成について
河野 敏生	★大野城市立小中学校の不登校児童生徒数が非常に多い問題について ・大野城市のひきこもり問題について ・教職員不足問題について
松崎 百合子	★外国人児童生徒・日本語を母語としない児童生徒の受入れ、および日本語学習支援について ・公園のトイレの洋式化およびバリアフリー化について
原田 真光	★保育所のおむつの取扱について ・公民館活動におけるスマートフォン利活用について ・J R九州鹿児島本線の踏切について
大塚 みどり	★切れ目のない子育て・教育支援について ・切れ目のない市民の健康支援について
平井 信太郎	★小中学校の不登校問題について ・大雨での河川溢水による洪水被害について
井福 大昌	★市民生活を守るための物価高騰対策
山上 高昭	★大野城市職員の働き方について

議会だより163号(11月15日号)において、下記のとおり誤りがありました。訂正し、お詫び申し上げます。

訂正箇所	P13 一般質問 原田 真光議員 問2つ目
誤	踏切の警報機と遮断機の時間に関する法的な基準はのために、本市が行っている施策について伺う
正	踏切の警報機と遮断機の時間に関する法的な基準は





映像は「まちら」

## 「ゼロカーボンシティ大野城」を目指して

平田 不二香



**問** 「ゼロカーボンシティ大野城」宣言をしていることの市民の認知度は

**答** まだ十分に認知されているとは言い難い状況なので、今後も様々な媒体や機会を通じて、より一層の周知啓発に努める。

**問** 昨年度実施した省エネ家電製品買換え応援キャンペーンの目的と事業成果は

**答** 家庭の省エネ化を促進し、ゼロカーボンを推進することが目的。2260世帯に対して補助金を交付し、それによる年間のCO<sub>2</sub>削減効果は約150トンCO<sub>2</sub>。

**問** 北九州市では、株式会社ジモティーと事業連携協定を締結し、地域の掲示板ジモティーを活用した地域内循環型の家具・家電のリユース事業を行っている。このような時代のニーズに応えるCtoC\*のリユース促進の取組はどうか

**答** 家庭の不用品をリユースする取組については、ごみの削減につながり有効であると思われるので、今後実施に向けた検討を進めたい。

**問** 古着のリユースを促進する仕組みづくりを考えては

**答** リユースに関する仕組みづくりについては、今後他市の取組等を調査研究したい。

**問** 本市のフードドライブの取組状況は

**答** 一時中断している状況。今後、回収方法や回収品目の精査など課題解消の検討を行い再開したい。

**問** 家庭から出る一時多量ごみが今後増えた場合の対策は

**答** 現在の取組では対応が難しくなった場合に備えて、今後、先進地の取組状況等の情報収集を行い、調査研究を行いたい。

\*CtoC:個人間取引



映像は「まちら」

## 教育現場におけるハラスメントの未然予防を

福澤 信光



**問** 大野城市の教育現場において、先生と生徒が2人きりになる状況が起こりえるのか

**答** 本市の小中学校において、定例で行う進路や悩み事などの個人面談は、部屋のドアや窓を開けて、人目につく状況で対面で行っているが、その他の生徒指導や聞き取りなどでは、教員と児童生徒が二人きりになることがないよう、十分配慮しながら教育活動を行っている。

**問** 教育現場で、各種ガイドラインがあると思うが、その中にスクールセクハラ等の防止に関するガイドラインが現在存在するか。また、本市独自のガイドラインを作成しているか

**答** 令和3年に公布された「教職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」を受けて、全国では四つの県がガイドラインとなる手引を作成しており、福岡県は今年度中に完成する予定。本市では、現在独自のガイドラインを作成していないが、密室状態で児童生徒と二人きり

にならないこと、個人面談をする際は管理職と共有しておくことといった未然防止のための策を講じている。

**問** 先生が生徒に対して行うセクハラ等のハラスメントについての研修を行っているか

**答** 各学校では、不祥事を生まないための研修を毎月1回は行っており、教員が不祥事を自分にも関係があることとして捉え、自らの規範意識や倫理感を高めていくことができるよう努めている。





映像は「11月1日」

## より魅力的な公園環境整備を

岡部 かおり



**問** 錦町公園は、幼児向け遊具、自由に遊べる広場、緑豊かな景観、ボール遊びができる公園として、多くの方が利用している。しかし、高台ということで、ボールが下の道路に飛び出してくることがあり、とても危険である。小さな子どもたちが安全に、ボール遊びができるように環境を整える必要があると考える。市としての見解は

**答** 錦町公園においては、子どもやボールが道路に飛び出して危険がないよう、フェンスやU字型のパイプを設置するとともに、飛び出し注意の看板を設置している。現状に加えた安全対策については、現在の公園の利用状況を確認の上、さらに対策が必要であれば、地元区や公園利用者などの意見を踏まえて、フェンスを高くする等の対策を検討する必要があると考える。

**問** 砂場の柵の隙間を塞ぐなどの整備の予定や、砂の入替えの頻度は

**答** 錦町公園には、犬猫が侵入するのを防ぐ目的で砂場を囲うように柵を整備しているが、柵の下に隙間が発生している。このことから、柵の下に隙間に砂を補充して、犬猫の侵入を防止するような対策を早急に実施する。

市内の公園の砂の入替えについては、4年に一度実施している大腸菌検査の結果を踏まえ、判断している。錦町公園では、令和4年度に検査を実施し、抗菌砂を添加した砂場の改良を実施している。



映像は「11月1日」

## 指定避難所に空調設備を（体育館など）

森 和也

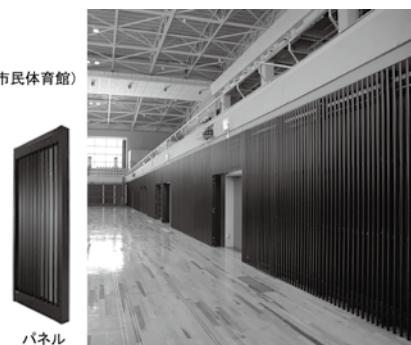


**問** 避難所の空調設備について、猛暑の時期や避難所生活が長期化する場合に備え、避難所での二次被害を防止するため、整備がされていないコミュニティセンターのふれあいホールと小中学校屋内運動場の整備に着手するにあたって、空調設備整備に至った経緯と、今後どのようなスケジュールで整備していく予定か。また、空調設備設置施設の優先順位について伺う

**答** 大規模災害発生時には、指定避難所となる公共施設に多数の市民が避難することになり、空調設備が整っていない避難所では、猛暑の時期や避難所生活が長期化した場合、体調不良等の二次被害が生じるおそれがある。このため、指定避難所に空調設備が必要と考え、令和5年2月に「空調設備の整備に関する基本方針」を定め、本方針に基づき整備を進めている。各施設の整備順位は、指定避難所の利用実績や平時における

空調設備の必要性などを踏まえ、第1順位をコミュニティセンターのふれあいホール、第2順位を小学校屋内運動場、第3順位を中学校屋内運動場及び武道場としている。ふれあいホールと小学校の屋内運動場は、本年度に設計を行い、令和6年度に整備する予定であり、中学校屋内運動場及び武道場は、令和6年度に設計を行い、令和7年度に整備する予定である。

空調設備の一例（宇土市民体育館）



パネル





映像は「まちの

## 全ての人を楽しめる「インクルーシブ公園」を

河村 康之



**問** 多様性を認め合い、全ての人が共生していくことを目指すインクルーシブ社会の構築に向けた取組は

**答** 誰もが自分らしく健やかに生活できる地域共生社会の実現を目指し、多様性を受け入れ、一人一人の個性が尊重され、互いに支え合い共生する社会の実現を目指す取組を進めている。

**問** 全国的に、障がいの有無や個人の特性にかかわらず、全ての子どもたちが自分らしく遊ぶことが出来る、インクルーシブ公園の推進が広がっているが、実態は

**答** 公園の整備等は、ユニバーサルデザインやバリアフリーの理念を前提に、ワークショップ等により地域住民等からの意見を参考にしている。現在インクルーシブの理念に基づく公園の整備等の実績はないが、誰もが一緒に遊び憩えるインクルーシブの理念を活かし、多様な人が集い、誰一人孤立させない共生のまちづくりのため、

今後公園の再整備や遊具の更新時に検討する必要がある。

**問** 今後、高架下の有効活用として、インクルーシブ公園や遊具の設置を検討してはどうか

**答** 高架下の整備は、公募にて決定された事業者からの提案に沿って整備を進めるため、現時点でインクルーシブな公園、広場づくりを事業者に義務づけることはできないが、実施設計において、事業者を検討できる余地があれば、インクルーシブな公園や広場の整備を促したいと考えている。



映像は「まちの

## 大野城市の今後の人口推移は

中村 真一



**問** 過去3回の国勢調査の人口推移は

**答** 平成22年95,087人、平成27年99,525人、令和2年102,085人。

**問** 人口が増加し続けている要因は

**答** 福岡都心部に近く、立地的特性を活かし、土地区画整理事業による住宅開発、公園や自然環境と共生した住環境の整備を進めてきた。福岡都市圏の中堅都市として先を見据えた都市基盤整備を進めてきたことが大きな要因であると考えている。

**問** 人口減少対策や少子化対策についてどのようなものがあるか

**答** 人口減少対策としては、ハード面での都市基盤整備と市民のニーズを踏まえたソフト面での施策を効果的に実施し、まちづくりを進めてきた。少子化対策としては、子育て世代への包括的な相談支援やひとり親家庭の支援など、子どもを産み育てていくための切れ目のない様々な支援を行ってきた。

**問** 今後の全体の人口推移は

**答** 令和4年の102,002人から令和9年に103,516人、令和14年に104,679人、令和19年105,268人まで増加し、その後減少に転じる見込み。

**問** 4地区の人口推移は

**答** 人口推計期間である令和29年度までの傾向として南地区は減少する見込み。中央・北地区は増加する見込み。東地区は令和19年まで増加し、その後減少する見込み。

**問** 高齢化人口率はどのような状況か

**答** 65歳以上の人口は、令和5年10月1日現在で22,982人、高齢化率は22.33%となっており、福岡県の高齢化率28%よりも低く、県内でも4番目に低い高齢化率となっている。





映像は「12月定例会」

## 本市の「職員の給与の男女の差異の情報」

永利 恭子



**問** 女性活躍推進法に基づく「職員の給与の男女の差異の情報」において、本市全職員に係る男女の給与の差異は63.1%と近隣他市に比べても低い数値だが、なぜか

**答** 全職員の職員区分では、相対的に給与水準が低くかつ女性の割合が多い会計年度任用職員が含まれており、その割合が、筑紫地区他市と比較して多いことから、結果として低い割合となっている。

**問** 非正規職員が増えたのはいつ頃からか

**答** 平成25年度は、嘱託職員が110名、臨時職員が174名で、計284名。  
平成30年度は、嘱託職員が139名、臨時職員が221名で、計360名。  
令和5年度は、会計年度任用職員のフルタイムが252名、パートタイムが312名で、計564名と

なっており、年々増加しているが、特に直近の5年間で顕著に増加傾向にあるものと考えている。

**問** 非正規職員の処遇改善を行う必要はないか

**答** 会計年度任用職員については、これまでも国の人事院勧告に基づく給与改定を行うなど、適宜適切な対応を行ってきた。今後も国に準拠し、適正な処遇に努めていく。



映像は「12月定例会」

## 不登校児童生徒の進路保障（社会的自立）を

河野 敏生



**問** 大野城市の小中学校における不登校児童生徒の割合は

**答** 本市小学校の不登校児童数の割合は2.3%で、中学校は9.7%。

**問** 全国の不登校児童生徒の割合は小学校が1.7%、中学校が6%に比べ、本市の割合が多いのはなぜか

**答** 不登校には様々な要因等があり、理由を一概に見出すことは難しいが、コロナ禍により生活リズムが乱れやすい状況が続いたこと等であると分析している。

**問** 学校が持っている課題は

**答** 児童生徒個々の状況に応じた支援を行っていくことが重要であると考え。そのため、不登校児童生徒の個々の状況に対応できるような様々な施策を行っている。

**問** 校内適応指導教室や未来教室コンパスに来られない不登校生徒は何人が

**答** 中学校の不登校生徒のうち未来教室コンパスや校内の適応指導教室に通っている生徒は95人で、通っていない生徒が130人。

**問** 中央・東・南コミュニティセンターに未来教室コンパスを設置したほうが、より多くの不登校の子どもを救えると思うがいかがか

**答** 北コミュニティセンターに設置している未来教室コンパスでは入級を希望する児童生徒の全員を受け入れることができ、現状適切な教室を確保できていると考える。今後も入級児童生徒数の推移を見ながら、北コミュニティセンター以外での未来教室コンパスの必要性について引き続き検討していく。



北コミュニティセンター



映像は「12月1日」

## インクルーシブ教育と日本語学習支援制度を

松崎 百合子



### 問 日本語の支援が必要な児童生徒数は

答 令和5年度は、小学校8名、中学校6名の計14名。母語の内訳は、中国語、韓国語、フィリピン語、英語、モンゴル語、マリ語、アラビア語である。

### 問 日本語を母語としない児童生徒の受入れ指針が必要でないか

答 各学校における受入れについての指針が必要であると考えており、これまでの対応や課題等を検証し、整理を行っているところである。

### 問 策定中の指針のなかに、教室での授業や生徒間の交流を通じた日本語習得を明記し、インクルーシブ教育を進められないか

答 インクルーシブ教育の視点においても、外国人児童生徒等への配慮と併せて、受け入れる側の児童生徒への指導の在り方等も大切にすることがあることから、学校における多文化共生社会

の実現を目指すことができる指針となるよう、今後も研究を進めていく。

### 問 日本語学習支援の資格や経験のある支援者の登録と、有償での派遣制度の創設をすべきではないか

答 現在、本市では日本語学習支援に関連する派遣制度等がないことから、他市の事例も参考にしながら、その必要性も含め、調査研究を行っている。



文部科学省「外国人児童生徒受入れの手引き」表紙より



映像は「12月1日」

## 保育所のおむつの取り扱い改革！

原田 真光



### 問 市内の認可保育所での使用済みおむつの処分方法はどのような状況か

答 市立保育所3園では、保護者が持ち帰って処分しているが、現在、園で処分する方法への変更を検討している。私立保育所では、13園のうち10園は園で処分しており、2園は、布おむつを利用している。残りの1園は紙おむつを使用しているが、園での処分への変更を検討している。

### 問 保護者の負担軽減のために、おむつのサブスク\*導入は効果的であると考えられるが、本市の見解は

答 おむつのサブスクを導入した場合、保護者は、記名したおむつを持参する必要がなくなるなど、負担軽減につながることから、今後、市立保育所

において保護者に対して効果や費用を示しながらアンケートを実施するなど、ニーズの把握を行い、導入の在り方について研究していきたい。

\*サブスクとはサブスクリプションの略語で、月額・定額で商品やサービスを利用できる仕組みのこと







映像は「11月」

## 「1か月・5歳児」健診の拡大・早期開始へ

大塚 みどり



### 問 本市の乳幼児健診の取組の現状と課題は

**答** 4か月児健診、10か月児健診、1歳6か月児健診は、医療機関での個別健診、3歳児健診は集団健診を行い、計4回実施。疾患の有無や発育、発達状況の確認、保護者への保健指導や育児の相談等を行い、支援が必要な方には保健師等が必要な支援サービスを紹介するとともに、健診後も電話等により継続支援を行う。課題は、3歳児健診以降、就学時健診まで市が実施する健診はないため、3歳児健診時点では発見されにくい発達障がい等を早期発見し、早期支援につなげる機会がないことと考えている。

発達障がい等の配慮が必要な子どもを就学時健診前に発見し、療育等の適切な支援につなげることができる機会になり、子どもの健やかな成長と、保護者の支援に有効である。

### 問 5歳児健診の実施を進める本市の考えは

**答** 5歳児健診については、集団健診での実施となることから、スタッフや会場の確保等の課題を整理した上で、関係機関との調整を行い、事業の目的を達成できるよう、早期の実施について検討していきたい。



### 問 国は健診の対象を「1か月児」「5歳児」にも拡大、その有効性は

**答** 1か月児健診は、本市の産後ケア事業等のサービスを紹介するなど、産後早期からのきめ細やかな支援が可能となり、育児不安の軽減、産後うつや虐待予防につながる。また、5歳児健診は、



映像は「11月」

## 不登校問題を知り、子ども達を救いましょう

平井 信太郎



### 問 本市の不登校(年間30日以上欠席)の児童生徒数は何人が把握しているか

**答** 小学校は、令和元年度が70人、令和4年度が146人、中学校は、令和元年度が173人、令和4年度が301人であり小学校で約2倍、中学校で約1.7倍に増えている。

**答** 児童生徒の保護者に対し、授業料の補助を検討している。フリースクール等の民間施設は、学校教育を補完し、児童生徒の社会的自立をするため必要な施設である。今後、必要な支援の在り方について検討する。

### 問 不登校兆候(年間15日以上30日未満の欠席)の児童生徒数は何人が把握しているか

**答** 不登校兆候の児童生徒は、令和4年度で小学校は240人、中学校で152人となっている。

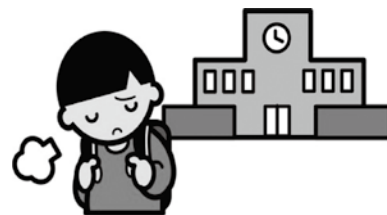
### 問 今後の不登校問題の対応はどのように考えているか。教育長の見解は

**答** 不登校の児童生徒の増加は、本市における喫緊の課題であると考えている。全ての児童生徒が豊かな学校生活を送り、学校が楽しいと感じる教育環境の整備に尽力する。民間施設や地域との連携を進め、不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援を行う。

### 問 不登校児童生徒への学習支援はどのように行っているか

**答** 学校での授業配信や、オンライン学習支援事業を10月から開始している。

### 問 フリースクールや個人で不登校支援を行っている施設は運営する経済的負担が大きい。民間施設や保護者への補助は出来ないか





映像は「まちの未来」

## 市民生活を守るための物価対策

井福 大昌



**問** 国が行っている物価高騰対策に関して、市はどのように考えるか

**答** 国が交付している地域創生臨時交付金は、柔軟性、即時性という点で一定の効果があったと考える。一方で、本来、全国一律に実施すべき教育、福祉や医療等の支援については、実施する自治体とそうではない自治体に分かれたことで、地域間のサービス格差を生じさせたことが課題であると考えている。

**問** エコ家電買換え補助金・学生通学費補助金について市民からの反応や感想は

**答** 年金暮らしのため買換えを迷っていたが、背中を押してもらえた、自転車の値段が高くなっていて、補助がもらえて助かったなどの声をいただいている。

**問** 今後、物価高騰対策として国からの支援、市独自の支援の予定はあるか

**答** 国の補正予算において、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の交付が示されたことから、これらを活用した支援策を検討し、早期に実施できる支援策について、今議会に追加で提案していく。

**問** 市民の生活を守る物価高騰対策として市民が実感でき、低迷している景気回復のカンフル剤にしていくべきと思うがいかがか

**答** 物価高騰対策として、市民や事業者へ届く支援という視点を踏まえ、広く行き渡る支援策の検討を行ってきた。今後も、社会情勢を踏まえ、市民や事業者の負担軽減や景気浮揚にも効果的な事業を検討したい。



映像は「まちの未来」

## 仕事を通して自己実現を

山上 高昭



**問** 大野城市の目指すべき職員像について

**答** 市民が主役であるという意識を有し、市民満足を最優先に考え、市民が利益を実感できるサービスを実践する、市民に信頼される職員であり、市の将来のために先見性のある政策を打ち出し、チームでより良い仕事を目指しながら自らの価値を高めることができる職員を掲げている。

**問** 技術や知識の習得について

**答** 業務上必須となる資格は、取得や更新に係る経費を全額支出している。また、幅広い専門知識の保持と能力の向上を図り、もって、公務の質の向上に役立てることを目的に、業務上必須ではないが公務遂行上有益と認められる資格の取得に関して、経費の一部を助成する新たな制度を現在検討している。

**問** 資格取得支援について

**答** 職員に対する資格取得の奨励は、仕事の質を高めることに活かされるだけでなく、職員のモチベーション向上の面でも効果が期待できるものと考えている。資格取得を奨励する一つの手段として、奨励金などの支給も考えられるが、国が示した手当の基準等も参酌しながら、どのような形が適当なのか、実現可能性も含め、今後検討することも考えている。



# 議員研修会を 開催しました!!

12月18日(月)本会議終了後、議員研修会を実施しました。  
講師：第一法規株式会社 様



改選後、新人議員3名を迎え、  
議員にとって必要不可欠な「法令・条例を読む力」、  
SNSなどのコンプライアンス<sup>\*</sup>についての研修を受けました。



議会の責務である「条例」や「規則」の制定、  
コンプライアンスについて改めて学び、  
議員としての責任の重さを確認しました。

※コンプライアンス:法令遵守



# 読んでみんしゃい!議会だより

広報委員会では11月22日に町村議会広報研修会に参加しました。  
本研修会は町村議会向けですが、議会だよりは町村のほうが活発で大変参考になります。

紙面づくりのポイントとして、

メリハリのある  
紙面構成

行間をあけて  
読みやすい記事

目を引く見出し

などを学んできました。

今後も、広報委員会一丸となってわかりやすい議会だよりを目指します。  
表紙デザインを変えるなど工夫してますので、以前のもものと見比べてみてください。



広報委員会の打合せの様子



大野城市議会だより



▲過去の  
議会だよりは  
こちら

## 議会について知ろう vol.9

### 議席番号

学校では「出席番号」があるように、議員にも「議席番号」があります。



議席番号はどうやって決めるの？  
学校みたいにあいうえお順？

選挙後最初の議会で議席番号を決めるよ。  
大野城市議会では当選回数の少ない議員から1番とし、  
当選回数が同じ場合はくじを使って決定します。



同じ学年の人たち同士でくじを引く感じなんだね！  
座席は議席番号順ですか？

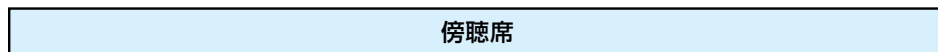
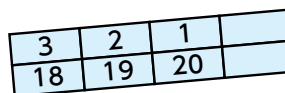
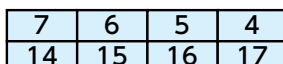
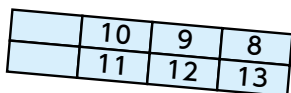
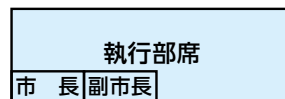
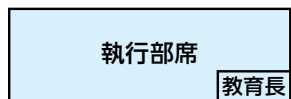
はい。下の図のように座るよ。



もっと詳しく!

議長は20番です。  
本会議中は議場の中央正面に座ります。

### 議場配置図



## 短歌

- 山城の大野城とう色彩の 展望所に見るまちの広がり
- 外は小雪か杜甫の春望・花万葉 ふるさと館ラボに居眠りもして
- 図書館車母子は笑顔に降りてくる 小さな絵本の大きな世界  
(乙金台 泉 満夫さん)
- 病院に検温終りし幼児が持参の虎にも検温受けさす
- 青大将ひさしから落ちただけですとやおら庭を去りてゆきたり
- 柿食って正岡子規を思いおり寺院のかねは聞こえないけど  
(若草 高名 稔さん)
- 会いたくて 夢の中へと かけ巡る 辿りつけない 隔り感じ
- 奥入瀬の 清き流れに 目を見張り 秋色深し 天の計らい  
(つつじヶ丘 松野直美さん)
- サンタさん 夢をいっぱい つめこんで スヤスヤ眠むる 頭の横に
- 散歩道 ほのかににほう きんもくせい 可愛い小犬に 先き越れて  
(白木原 ミドリさん)
- 友よりの 年の始めの ごあいさつ 互いの無事を 願いて祈る
- 温暖化 寒さ忘れて 過ごす日々 心身共に 耐えるを忘れ  
(乙金台 小野敬子さん)
- 筑豊の雛の祭り廻り来て 茜の空は春の夕暮
- 野の花の師となる人に巡り逢い 話は尽きぬブティックの午後  
(紫台 川崎セツさん)

## イラスト



(白木原 ミドリさん)



(錦町 辻 大樹さん)

## 作品掲載希望者募集

議会だよりでは、みなさんからいただいた作品を紹介します。

### ●募集作品

・俳句・川柳・短歌・写真・イラストなど

### ●応募方法

住所、氏名、電話番号を記入して、  
議会事務局「議会だより作品募集」係へ郵送または  
直接窓口へ 〒816-8510 大野城市曙町二丁目2番1号  
TEL. 580-1938

### ●注意事項

- ・未発表のものに限ります
- ・人物の写真については、掲載の了解を得てください。
- ・提出された作品は、返却しません。
- ・ペンネームでも可とします。
- ・応募多数の場合は広報委員会で厳選して決定します。  
あらかじめご了承ください。

### ●応募締切

5月15日号掲載は3月15日まで



小・中学生からの応募もお待ちしております

## 川柳

- 一万歩氏神様へ遠回り
- 老いの果て薔の花でもうらうらら  
(乙金台 泉 満夫さん)
- カレンダー 病院行きの日が増えて  
(紫台 川崎セツさん)

## 俳句

- 定例の神殿清掃神迎
- 天拝の明るく光り山眠る  
(牛頸 西山光教さん)
- 忘れじと 手植し夫の 酔芙蓉
- 未知の世に 心誘う 満月が
- 故郷の 山は翳りて 濃い朽葉  
(つつじヶ丘 松野直美さん)
- 狭い庭 花あり 芋あり レタス有り  
(紫台 川崎セツさん)

## 広報委員会

委員長	河村 康之
副委員長	中村 慎一郎
委員	山上 高昭良
委員	神田 徳良
委員	岡部 かおり
委員	河野 敏生

## あんでな

生成人工知能(AI)が、広く日常生活や企業活動の中に浸透してきています。いつの間にか、スマホやパソコンに搭載され、手軽に利用できるようになっています。知識や経験・技術のある人にしか出来ないと思われていた文書作成や画像編集・動画編集などを誰でも手軽に行うことが出来るようになりました。

AIに「人と動物の違いは?」と訪ねてみると、「道具の使用や作成、言語やコミュニケーション」などと返ってきます。

お釈迦様は、「恥を知るか否か」とおっしゃったそうです。まだ、AIは人間に及ばない気がします。  
(山上高昭)